

誰もが誰かのサンタになれる。

# H<sub>2</sub>Oサンタ

チャリティー活動報告



VOL.15

# 知らなかったこと

私ごとですが、昔あるマラソン大会に参加しました。

スタート時、市民ランナーたちがそれまで着ていた新しいウィンドブレーカーを脱ぎ捨てて走り出しました。まだ着られるものが簡単に捨てられてしまったと思い、少し嫌な気分になりました。

ところが後になって、スタート時にコースに残された衣類は社会貢献団体によって集められ、支援を必要としている人々に配られていることを知りました。

ランナーたちもそれを分かっている新しいウェアを着ていたようです。支援を求める人のために動く人と、その活動に賛同して協力する人々が連携した取り組みでした。私が何も知らなかっただけでした。マラソンの完走に感動しましたが、それ以上に自分の知らないところで誰かのために何かをしている人々の存在を知った驚きが強く記憶に残っています。

内閣府の世論調査※によると社会の一員として何か社会のために役立ちたいと思っている人の割合は63.6%となっています。しかし、何かしたいとは思っていても情報が少なく、何をすれば良いか分からないので行動していない人も多いようです。ということは、情報さえあれば社会貢献活動に参加したいと思う人はまだまだいるのではないのでしょうか。

H<sub>2</sub>Oサンタの合言葉は、「誰もが誰かのサンタになれる」です。

さまざまな社会課題とその解決に取り組む団体を多くの方にご紹介し、チャリティーの輪を広げ、社会貢献団体と一般の方々をつなぐ活動を行っています。皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



一般財団法人H<sub>2</sub>Oサンタ  
事務局長 外間孝次

※内閣府平成30年度 社会意識に関する世論調査

## 病気のこどもの「きょうだい」に寄り添う 支援活動

H<sub>2</sub>Oサンタでは、子どもを取り巻く問題の実態把握のため、定期的に専門家や社会貢献団体の代表の方に取材を行っています。今回は、病気や障がいをもつこどもの「きょうだい」※を支援する、国内でも数少ない活動に取り組んでいるNPO法人しぶたね代表の清田悠代さんにお話をお伺いしました。

取材・レポート：H<sub>2</sub>Oサンタ事務局長 外間孝次

※「病気や障がいのある兄弟姉妹」を持つ人のことを平仮名で「きょうだい」または「きょうだい児」と呼ぶことがあります。ここでは「きょうだい」と表現します。



※写真はイメージです。

病気や障がいがあるこどもの家族は、どうしても病児中心の生活になりがちです。そうした中、「きょうだい」は、不安や寂しさ、罪悪感、プレッシャー、悲しみ、怒りなどの気持ちを抱えて過ごすこととなります。こうした複雑な気持ちは、兄弟姉妹の病気が治っても、大人になっても完全になくなるということはないのだそうです。また、保護者の方々も思うままに「きょうだい」との時間をつくれな

いことに悩むことも。このような「きょうだい」と保護者の悩みを解決するためには、第三者が関わり、サポートすることが必要です。

当事者家族には重要性が認識されているとはいえ、多くの方が、「きょうだい」になぜ支援が必要なのか、と疑問を持たれるのが現状です。

「きょうだい」支援を行っている現場で、取材しました。

## 様々な思いを抱えている 病気のこどもの「きょうだい」たち

「しぶたね」が2003年に発足して以来、続けられている活動のひとつが、大阪市立総合医療センター(大阪市都島区)で、面会中の保護者を待つ「きょうだい」のこどもたちと一緒に過ごすボランティア(病院活動)です。病院の活動現場で、一般的にはまだまだ知られていない「きょうだい」支援の現状や課題をお聞きました。

— 清田さんが、「きょうだい」支援を始めるきっかけは何だったのでしょうか。

私自身の体験からです。中学生の頃に

弟が心臓を患い入院していたときのこと。病院の廊下で親御さんを待っている幼い「きょうだい」たちがいることを知りました。中学生以下のこどもは感染予防のため病室はおろか、病棟にさえも入ることができません。面会時間が終わるまで何時間も廊下で親御さんを待っているのです。そんな風にこどもが放っておかれることがとてもショックで、中学生ながら何とかしたいと思った気持ちが、「きょうだい」支援につながっています。大学で福祉を学び、「しぶたね」を設立しました。



NPO法人しぶたね代表 清田 悠代さん

### NPO法人しぶたねについて

「しぶたね」の“しぶ”は、英語で兄弟姉妹を意味する「シブリング(sibling)」の“しぶ”。“たね”は、病気のこどもの「きょうだい」たちが安心していられる場所や、安心して話ができる人が増えるように“たね”を蒔いていく活動を表しています。

#### 【主な活動】

- ◎ 病院で家族を待つ「きょうだい」たちとゲームなどをして遊ぶ「病院活動」(月2回)
- ◎ 「きょうだい」が主役になって両親らと遊ぶ「きょうだいの日」を開催(年3回)
- ◎ 支援者のための「シブリングサポーター研修ワークショップ」を日本各地で開催(年5回程度)

## 病気のこどもの「きょうだい」が、安心して過ごせるようにしたい

— 病棟前の廊下で「きょうだい」を支援する活動は、病院にすぐ受け入れられたのでしょうか。

4年かかりました。もともと、小児病棟に入院しているこどもと遊ぶボランティアをしていたのですが、「実は廊下で待っているこどもたちのケアをしたい」と職員の方に伝えることから始めました。病棟に入れないと分かっていても、「きょうだい」を連れて来ざるを得ない親御さんの事情を、看護師さんたちは理解されていて、廊下で待つこどもたちの安全についても気にしていらっしゃると思います。私たちボランティアが「きょうだい」と一緒に過ごすことにより、病院にも親御さんにも安心感を持ってもらえたらと思います。活動する場所を確保するために時間を要しましたが、病院の皆さんは協力的で、この活動を大事にしてくださっています。

— 活動を続けてこられて、よかったことを教えてください。

一緒に遊んだこどもが大学生になってボランティアとして参加してくれることがあり、当時のことを話してくれるときです。私が中学生の頃感じた寂しさやそのときに見た小さな子に比べて、少しでも温かい思い出が残ったのかなと感じ、続けてきてよかったと心から思います。

しぶたねの病院活動  
ボランティアスタッフの皆さん

— 保護者の反応はいかがですか。

面会を終えて出てきたお母さんに、「きょうだい」の子が私たちと一緒に作った工作を見せたりすると、ぼろぼろと泣かれることがあります。「夏休みなのにこの子は家と病院の往復しかしていなくて…。でもこんな楽しいことがこの子にもあってよかったです」とおっしゃった言葉は、ずっと心に残っています。

— 「きょうだい」支援ボランティアが入っている病院は、全国でも5つ程度とのことですが、広めるための活動をしていただけますか。

昨年度「病院ボランティアマニュアル」を作成しました。私たちがこの病院で12年間、事故なく実践してきたことをまとめ、ボランティアが病院でできることがあると伝える内容です。全国の小児病棟がある病院に送り、ホームページでPDFを公開しています。



### — 病院活動以外での活動は？

「きょうだいさんのための本 たいせつなあなたへ」という冊子を制作し、全国に配布しています。これまで5万7千冊を届けました。病気のこどもの「きょうだい」と親御さんや周りの大人が気持ちを伝え合える内容です。先日、4歳の子がこれを読んで泣いているのを見たお父さんも読んで泣き、翌日ふたりで遊園地へ行っただというお話を聞きました。冊子はもう1種類、兄弟姉妹を亡くしたこども向けがあり、どちらも「しぶたね」のホームページや右記二次元コードから

ダウンロードできます。病院や保健所などにも置いていただけるようになってきました。

### 「きょうだいさんのための本」

下記URLにてダウンロード(無料)できます。



※一部ご利用いただけない機種がございます。

## 「きょうだい」支援は、 当たり前に「きょうだい」が大切にされること

— 日本における「きょうだい」支援の認知、普及はこれからですが、海外ではいかがですか。

「きょうだい」支援の先進国はアメリカで、ヨーロッパやオセアニアにも広がっています。アメリカでは、こどもが病気になるとその「きょうだい」の支援も必要であると認知されており、職業として行われています。学校のカウンセラーが「きょうだい」に話をしたり、保護者をたずねて、「きょうだい」にはどんなサポートが必要か考えてくれることが当たり前になっているそうです。さらに、シブショップという「きょうだい」支援のためのワークショッププログラムが開催されています。シブショップは日本にも導入されており、現在2カ所で行われています。私たちの目標は、10年後に日本でも「きょうだい」支援が当たり前になっていることです。

— 日本での普及に必要なことは何だとお考えですか。

「きょうだい」支援は、予防でもあるのです。「きょうだい」の中には、不登校や心身症になるこどもがいます。その場合は、カウンセリングなどサポートの対象となります。しかし、本当に必要なのはそうなる前に、当たり前「きょうだい」が大切にされることなのです。実際、精神科のセラピーに通っていた子が、シブショップに一度参加しただけでセラピーに行かなくてもよくなったケースがあります。このような実態が把握されていないことが、普及の障壁となっています。「きょうだい」の現状についてデータの蓄積を行うことで必要な支援を明確にすることが必要だと考えています。

## 「きょうだいの日」が、「きょうだい」への 関心のきっかけになるといい

—「きょうだい」支援の認知のために「きょうだいの日」制定に尽力され、今春認定されましたね。

今年から、4月10日は「きょうだいの日(シブリングデー)」として、一般社団法人日本記念日協会に認定・登録されました。「きょうだい」支援の輪を広げるために何かできないかと検討していたとき、アメリカには母の日や父の日とならんで「きょうだいの日」があることを知りました。日本にも「きょうだいの日」ができれば、「きょうだい」への社会的関心を高めるきっかけになると思い、記念日として認定していただくための広報をはじめたところ、200名以上の方の賛同、協力を得ることができて、申請・認定に至りました。

4月10日としたのは、アメリカの「きょうだいの日」がこの日だからです。

「きょうだいの日」制定イベントの様子  
阪急うめだ本店 9階祝祭広場

—「きょうだいの日」に込めた思いをお聞かせください。

今回の記念日の制定を機に、「きょうだい」への理解が高まることを期待しています。これからは、毎年4月10日に合わせ、「きょうだい」を支援する国内外のさまざまな団体や個人とも協力しながら、「きょうだい」支援の啓発を継続的に行っていきます。「母の日」や「父の日」とならぶ記念日として、すべての兄弟姉妹のための日となり、さらに将来的には「きょうだい」への応援が届く日となっていくことを願っています。



### 取材を終えて

今回お話を伺って、病気のこどもの「きょうだい」にとって、安心できる居場所と大切にされていることを実感できるような大人のサポートが極めて大切なことだと感じました。また、私たち社会のみんなが「きょうだい」について知ることで「きょうだい」の支援を広める力にもなることに改めて気付きました。

H2Oサンタは、この活動を広く社会に知っていただくために今年4月10日に認定された「きょうだいの日(シブリングデー)」制定式の開催にも協力いたしました。今後もこどもたちを取り巻きさまざまな状況を把握するとともに、こどもたちの笑顔につながる取り組みを模索し続けたいと思います。

# チャリティーの輪がひろがっています。

2019年1月～3月、イベントを開催し、たくさんの方々から寄付を募りました。

社会貢献団体と連携した啓発募金活動

## 第9回 NPO フェスティバル

会場：阪急うめだ本店 9階 祝祭広場

1月16日(水)～21日(月)の6日間にわたり開催。各団体が日頃の活動をPRするトークイベントに加え、団体を応援するアーティストの皆様や子どもたちによるパフォーマンスで、会場は連日大いに盛り上がりました。楽しみながら、NPOの様々な活動を知っていただくNPOクイズには、1,570名もの皆様にご参加い

### H2O サンタ NPO フェスティバルとは？

様々なNPOの活動をご紹介します、寄付を募る一大イベントです。各団体の展示ブースの他、ステージでの活動PRトークや応援パフォーマンス、NPOクイズなどを実施しました。

ただきました。今回は、認定NPO法人FaSoLaBo(ふぁそらぼ)京都、NPO法人あっとすくーるなど初参加の4団体をはじめ、合計14団体をご紹介します、455,415円の募金を集めることができました。「たくさんの方々との出会いがあり、団体の活動を広く知ってもらえる機会になりました」などの声もいただきました。



団体応援パフォーマンス



活動PRトークイベント



NPOクイズ抽選会

《 第10回NPO フェスティバルは2019年8/28(水)～9/2(月)に開催予定 》



## 初参加の団体からの声

今回のNPOフェスティバルでは4団体が初参加しました。



様々な団体が参加されるイベントに初めて参加しました。私たちの活動は病院で非公開のため、たくさんの方々と交流する貴重な場となりました。性暴力というデリケートな問題にも興味をもっていただき、大変うれしく思います。

NPO法人性暴力被害者支援センター・ひょうご（性暴力被害にあわれた方への支援）

ひとり親家庭の子どもたちへの学習支援や相談を通じて、勉強に取り組む意欲を育む活動をしています。百貨店は、日頃お会いできない方にも活動を広める好機。お子様のいる方などに、特に熱心に耳を傾けていただけました。



NPO法人あっとすくーる（ひとり親家庭の子どもたちの学習支援）



食物アレルギーの子どもたちが、どんな生活を送り、困っていることは何かを知っていただく良い機会になりました。『食べられない=可哀想』ではなく、治療を受けながらポジティブに頑張る姿をお伝えできました。

認定NPO法人FaSoLabo(ふあそらぼ)京都（食物アレルギーのある子どもと家族の支援）

幼児期の子どもの視野・視界を擬似体験するツール“チャイルドビジョン”を使い、子どもたちへの接し方の工夫などを体感いただきました。子どもたちが感じていること、考えていることに、関心を寄せていただく機会になりました。



NPO法人CAP(キャップ)センター・JAPAN（子どもの安全・安心を守る予防教育の推進・啓発）

## その他の参加団体

- 社会福祉法人兵庫盲導犬協会  
（盲導犬の育成、無償貸与）
- 一般社団法人ミナファミリー  
（子ども用車いすの社会的認知を高める活動）
- NPO法人子どもセンター ぬっく  
（居場所がない少女のための避難ハウスの運営）
- 認定NPO法人日本レスキュー協会  
（災害救助犬の育成と派遣）
- 認定NPO法人日本クリニックラウン協会  
（長期入院生活を送る子どもたちの支援）
- NPO法人子どもデザイン教室  
（児童養護施設の子どもを支援）
- 公益社団法人家庭養護促進協会 大阪事務所  
（里親・養親家庭を探す活動）
- NPO法人つなご  
（居場所がない少女のための避難ハウスの運営）
- NPO法人日本子ども支援協会  
（里親制度の啓発）
- 認定NPO法人プール・ボランティア  
（障がい児へ水泳の体験を提供）



## 寄付のためのイベント

# 第6回 チャリティーダンス フェスティバル

会場：阪急うめだ本店 9階 阪急うめだホール

出演者は自分のスキルがチャリティーにつながり、来場者は「観覧することで楽しく気軽に寄付ができる」とご好評をいただいています。

3月3日(日)に開催した第6回目は、出演者と来場者を合わせて841名にご参加いただきました。本イベントの入場料1,000円の税抜額および募金額の合計804,149円を、病児に関わる支援活動を行う下記4団体に均等にこの4月に寄付しました。



### 寄付先団体

- 認定NPO法人日本クリクラウン協会  
(長期入院生活を送る子どもたちの支援)
- NPO法人しぶたね  
(病気のこどものきょうだい支援)
- NPO法人チャイルド・ケモ・ハウス  
(小児がんや難病のこどもの家族滞在型療養施設の運営)
- 一般社団法人こどものホスピスプロジェクト  
(難病のこどもとその家族を支援)

『NPOフェスティバル』や『チャリティーダンスフェスティバル』の回数を重ねることで、イベント実施についての感謝のお言葉や「良いことをされてますね」などの賛同のお声を頂戴することが多くなり、少しずつH<sub>2</sub>Oサンタの名前や活動が認知されていると実感できるようになってきました。まさに“継続は力なり”です。企画運営には困難な事も数多くありますが、その言葉を糧として今後も努力してまいります。

レポート：H<sub>2</sub>Oサンタ事務局 中田大三



どのイベントも多くのNPOスタッフの方々とH<sub>2</sub>Oサンタ事務局メンバーとで連携しながら作り上げています。「どうしたらもっと多くの人に活動を知ってもらえるのか?」「こんな風にした方が伝わるのでは?」と切磋琢磨しながらベストを尽くしています。また、H<sub>2</sub>Oサンタのイベントでは、団体同士のネットワークも生まれます。6日間の『NPOフェスティバル』が終了した際には、「お疲れ様でした!」とお互いねぎらう一体感が回を重ねるごとに増えています。今後も、よりネットワークが拡大し、チャリティーの輪が広がっていくようなイベントを開催してまいります。

レポート：H<sub>2</sub>Oサンタ事務局 森田英里

## 寄付報告

# 社会貢献団体をご紹介します寄付を募る チャリティーガイド

チャリティーガイドでは、素晴らしい活動をされているが、まだまだ世の中に知られていない社会貢献団体をご紹介します。2018年12月～2019年3月は25団体を紹介し、1,352,058円を寄付することができました。2月には認定NPO法人FaSoLabo(ふぁそらぼ)京都、3月にはNPO法人不登校新聞社が初登場しました。



### チャリティーガイドとは？

阪急うめだ本店9階・12階に常設し、毎月8団体をパネルと動画を用いて紹介。応援したい団体があればその場で募金をしていただけます。

#### 認定NPO法人FaSoLabo(ふぁそらぼ)京都



食物アレルギーのこどもと、その家族をサポートされている団体です。講演会や交流会でアレルギーについての理解を深めたり、災害時にアレルギー対応食の提供を行ってられます。

#### NPO法人不登校新聞社



不登校が問題にならない社会づくりを目指し、日本で唯一の不登校専門の新聞を発行。不登校経験者が記者として活躍する場を提供するなど、当事者親子を応援しておられる団体です。

パネルでご紹介する団体は、皆様からお預かりした大切な募金を寄付させていただくため、どのような活動をされているのか事務所を訪問し、じっくりとお話をうかがった上で決めさせていただいています。団体の活動が、3枚のパネルを通じて来場者の皆様の心に響くよう、工夫しています。

レポート:H2O サンタ事務局 森田英里



2018年12月～2019年3月

# 寄付額合計 2,947,361円

チャリティーガイドやイベントなどで集まった寄付金を38団体へ寄付いたしました。ご協力ありがとうございました。

認定NPO法人アクセス-共生社会をめざす地球市民の会  
公益社団法人アジア協会アジア友の会  
NPO法人あつとすくーる  
認定NPO法人アニマルレフュージ関西  
NPO法人おおさかこども多文化センター  
公益社団法人家庭養護促進協会 大阪事務所  
NPO法人関西こども文化協会  
公益財団法人関西盲導犬協会  
NPO法人CAPセンター・JAPAN  
熊本県  
NPO法人子どもセンター ぬっく  
NPO法人子どもデザイン教室  
認定NPO法人児童虐待防止協会

# 社会貢献団体スタッフが活動現場をリアルにトーク土曜日のサント チャリティートークイベント



阪急うめだ本店 9階 祝祭広場

H2Oサント係員がインタビュー形式で進めるチャリティートークイベント。チャリティーガイドでご紹介している団体の中から12の社会貢献団体にご参加いただきました。トーク終了後は募金をして下さる方や、団体の支援方法などをたずねる方がたくさんいらっしゃいました。

- 2018年
- 12/1 身体障がい者補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)法啓発イベント(補助犬に関する法啓発イベント)
  - 12/15 認定NPO法人アクセス-共生社会をめざす地球市民の会(フィリピンのこどもの教育支援)
  - 12/22 NPO法人日本サービスドッグ協会(引退補助犬の支援)
- 2019年
- 1/5 社会福祉法人日本ライトハウス(盲導犬の育成・無償貸与)
  - 1/12 NPO法人おおさか子ども多文化センター(外国にルーツを持つ子どもたちへの教育支援)
  - 2/16 公益社団法人アジア協会アジア友の会(きれいな水がないアジア地域へ井戸を提供)
  - 2/23 NPO法人チャイルド・ケモ・ハウス(小児がんや難病のこどもの家族滞在型療養施設の運営)
  - 3/2 認定NPO法人ノーベル(訪問型病児保育)
  - 3/9 NPO法人JHD & C(ジャードック)(頭髪に悩みを抱える子どもたちへウィッグを提供)
  - 3/30 NPO法人あっとオーティズム(自閉症の理解促進のための啓発活動)

地球上には海洋や河川の水が豊富ですが、安全な飲料水はごくわずかです。この団体は1979年から井戸やパイプラインを建設贈与し、安全な飲料水を提供する事業に取り組んでいます。この活動が、こどもが教育を受けられる環境作りや、水くみの重労働を強いられていた女性たちの経済的自立を促すことにつながっているそうです。



小児がんや難病のこどものための家族滞在型療養施設を6年前から運営されています。つらい闘病生活で、「治療以外は快適に過ごさせてあげたい」との思いから誕生しました。施設内は、家族のだんらんを大切にしながら、緊急時には即座に医療ケアを受けられる環境が整っています。



阪急うめだ本店9階の祝祭広場にいらっしゃる方は、たまたま休憩されている方が大半ですが、トークイベントが始まると多くの方が熱心に耳を傾けてくださいます。終了後、詳しく知りたいとおたずねくださる方も多くいらっしゃいます。社会貢献団体の認知度を高める場として、このイベントは300回を超えて継続しています。

レポート：H2Oサント事務局 河瀬茂樹



- NPO法人しぶたね
- NPO法人JHD&C(ジャードック)
- NPO法人弱視の子どもたちに絵本を
- 認定NPO法人ジャパンハート
- NPO法人性暴力被害者支援センター・ひょうご
- 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
- NPO法人チャイルド・ケモ・ハウス
- 社会福祉法人中央共同募金会
- NPO法人つなご
- 認定NPO法人テラ・ルネッサンス
- NPO法人西淀川子どもセンター
- 認定NPO法人日本クリニックラウン協会
- NPO法人日本こども支援協会

- NPO法人日本サービスドッグ協会
- 社会福祉法人日本ライトハウス
- 認定NPO法人日本レスキュー協会
- 一般社団法人ニュールック(new-look)
- NPO法人兵庫介助犬協会
- 社会福祉法人兵庫盲導犬協会
- 認定NPO法人FaSoLabo(ふぁそらぼ)京都
- 認定NPO法人プール・ポランティア
- NPO法人ベッツ・フォー・ライフ・ジャパン
- NPO法人マミー(MAMIE)
- 一般社団法人ミナファミリー
- NPO法人ラマモンソレイユ

## ボランティアレポート

エイチ・ツー・オー リテイリンググループや法人賛助会員の従業員による個人でのボランティア活動をご報告します。

支援の輪をひろげる

### 個人の活動

NPO法人JHD&C (ジャーダック)



頭髪に悩みを抱えている子どもたちにウィッグを提供している団体

参加者

株式会社阪急阪神百貨店  
金井久実さん



自分の髪の毛を寄付(写真右側 金井さん)



髪の毛の束を整える作業

### 私の髪を子どもたちのために 役立ててもらいたいと考えました。

従業員ボランティア募集のポスターを見て、以前から小児がんなどの子どもたちにウィッグを無償で提供するJHD&C(ジャーダック)さんの活動に興味がありました。「いつかこの活動のお役にたきたい」と思って髪を伸ばし、寄付に必要な31cm以上に達したので、今回ボランティア時に自分の髪の毛を寄付として持参しました。ボランティアとして作業をする前に、実際に寄付した髪の毛がどのように、髪の毛を必要としている子どもたちに届くのか説明を受け、自分の想いと共に届けられ、子どもたちのために役立てていただけることを知りました。

この活動を多くの方が知り、髪の毛を必要としている子どもたちに多くのウィッグが届くことを願っています。

また、事務局には毎日本当にたくさんの髪の毛が届きます。私は平日に2時間のボランティアをさせていただきました。ぜひ、また空いた時間にボランティアに行かせていただければと思います。

NPO法人  
JHD&C  
(ジャーダック)  
谷口 ももさん



JHD&C(ジャーダック)では、ボランティアの皆様にも、全国から届く毛髪の開封・仕分け作業をお手伝いいただいています。毛髪の長さを計る、とても簡単な作業ですので、ぜひお気軽にご参加いただけると嬉しいです。JHD&C(ジャーダック)でのボランティアを通じて、全国から届く温かい善意を感じとっていただけたら幸いです。

H<sub>2</sub>Oサンタは法人賛助会員のチャリティー活動を応援しています。社会貢献団体へ支援の輪をつなげることができたチャリティー活動についてご報告いたします。



## カレーが子どもたちに大好評。

飲食店の運営や給食事業を展開するハートダイニング。自社製品の「阪神タイガースカレー」を用いた社会貢献をお考えで、寄付先を探しておられました。H<sub>2</sub>Oサンタの支援先である西淀川子どもセンターをご紹介します。2月に開催した子ども交流イベントに50食をご提供いただきました。「子どもたちに大好評で、あっという間になくなりました」とのお声をいただきました。



NPO法人西淀川子どもセンター(こどもの食事・教育支援)へ阪神タイガースレトルトカレー50食を寄付



## おいしいパンがよろこばれました。

パンの製造・販売を手がける阪急ベーカリー。NPO法人つなご主催の野外活動へ2回目となるパンのご提供をいただきました。「どのパンもおいしくいただき、子どもたちが楽しみにしている野外活動での思い出のひとつになりました」とのお声をいただきました。



NPO法人つなご(居場所がない少女のための避難ハウス運営)へフオカッチャやキッシュなど約40個を寄付

エイチ・ツー・オー リテイリンググループ各社で、『従業員ボランティア募集』のポスターを貼る場所を拡大したことで、個人ボランティア参加者が増えました。また法人賛助会員企業の9社から本業を活かしたご協力をいただきました。今後も支援の輪が広がっていくよう、活動してまいります。



レポート:H<sub>2</sub>Oサンタ事務局 河瀬茂樹

### 広報レポート

## 阪急オアシスでH<sub>2</sub>Oサンタの動画放映がスタート

H<sub>2</sub>Oサンタの活動をより多くの方に知っていただくため、阪急オアシスの46店舗のサイネージ(デジタル看板)にて、3月からH<sub>2</sub>Oサンタを紹介する動画を放映。阪急オアシスに来店されたお客様にエイチ・ツー・オー リテイリンググループの社会貢献活動の取組みをご紹介します。これをきっかけにひとりでも多くの方が活動に関わってくださり、チャリティーの輪が広がっていくことを願っています。

レポート:H<sub>2</sub>Oサンタ事務局 森田英里



阪急オアシス神崎川店



一般財団法人H2Oサンタは、H2Oリテイリンググループの社会貢献団体です。  
子ども支援をテーマに、地域社会にチャリティーの文化を創造することを目的とした  
4つの活動を行っています。

### 1 社会貢献団体と連携した啓発・募金活動

展示会やイベントで様々な団体を紹介し、寄付を募る活動を行っています。

### 2 寄付のためのイベント

寄付金を集めるための販売会・展覧会・ダンスイベントなどを開催しています。

### 3 ボランティアの仲介

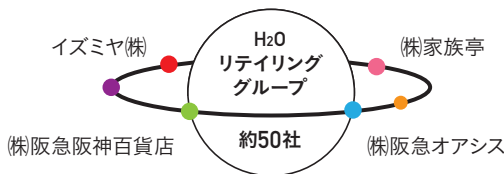
ボランティア活動に参加していただける方々と社会貢献団体をつないでいます。

### 4 調査・発表

子どもたちに関連する諸問題を調査し、本誌などで紹介しています。

## 〔H2Oリテイリンググループ〕

生活総合産業グループとして、地域社会の発展と豊かな生活環境づくりに貢献しています。



## ◎賛助会員ご加入のお願い

H2Oサンタの活動を継続するためには、皆様からのご支援が必要です。  
活動の趣旨にご賛同いただき、賛助会員へのご加入よろしくお願いたします。

#### 【会員種別】

法人会員 —— 1口 50,000円

個人会員 —— 1口 5,000円

#### 【年会費】

#### お申込み方法

下記ホームページからお申込みください。

<http://www.h2o-retailing.co.jp/h2o-santa/>

問い合わせ先：一般財団法人H2Oサンタ事務局  
TEL 06-6313-9304 10:00～18:00 ※火・日曜以外



H2Oサンタホームページへ  
※一部ご利用いただけない機種がございます。